

時代の潮流を見据えた 新たなまちづくり

笠松町議会議長 船橋 義明



あけましておめでとうございます。

新春を迎えるに当たり、町議会を代表して、ごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから町政発展のため格別なご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今日、国・地方を取り巻く状況は、長引く景気低迷による失業率の増加、本格的な地方分権社会への動き、合併問題、少子高齢化の進行や環境問題の深刻化、高度情報化や国際化の進展、価値観や生活様式の多様化など、時代の大きな転換期にあります。

我々が二十一世紀を着実に歩んでいくためには、このような時代の変化を的確に捉えることが必要であり、今、多くの分野において構造的

な改革が進められようとしています。

このような時に当たり、本町においても、環境問題をはじめ、克服すべき多くの問題を抱えており、行政需要はその量・質ともますます複雑かつ多様化するなど、誠に厳しいものがあります。

地方分権の進展に伴い、住民に身近で総合的な行政サービスを提供する市町村の役割がますます重要なものとなってきており、我々議会にあっても、地方を取り巻く時代の潮流を見据え、何事にも果敢に挑戦する気概と想像力を駆使し、住む人、訪れる人、将来を担う子どもたちに「住んで良かった、来て良かった」と思っていただけをまちづくりを目指し、議会と行政が連携・協働し、今後さらに創意工夫を重ね、皆様が

たのご期待に応えるよう最大限の努力をいたす覚悟であります。

どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさついたします。

